

令和2年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1.機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 河野 久忠
所在地	〒197-0011 東京都福生市福生 2351-1
電話番号 / F A X 番号	042-553-2575 / 042-551-6759
H P アドレス	http://www.npo-ysc.jp/
研修実施場所	同上
研修実施場所の最寄駅	JR 青梅線福生駅
組織概要 (設立趣旨)	日本の将来を担う青少年の健全育成を考える時、全ての青少年にその機会が提供されるべきである。不登校、ひきこもり状況等に陥った青少年が社会参加できないことは、当事者、家族にとって育成の機会を失ったことに他ならない。 当法人は、当該青少年が自ら尊厳を持ち、積極的に社会参加できるよう寮生活を通して、心の傷の回復や、人間同士の信頼関係、基本的な生活習慣の立て直し、将来に対する意欲や目標を持つことができるようサポートする。
職員数	全職員数 101名(常勤 47名 / 非常勤 54名)
機関・団体における アウトリーチの特徴等 について	当法人では昭和52年の開設以来、自主事業としてひきこもり状態の若者に対するアウトリーチ事業を基軸とした自立支援活動を全国展開してきた。 近年では、アウトリーチ手法が一般的にも知られるところになり、当法人に於いても地方公共団体から複数のアウトリーチ事業を受託している。その実践の中で見てきた公的な支援制度からこぼれ落ちていく層に対応すべく、民間の強みを生かしたアウトリーチを行っている。 特に、家族間で有効なコミュニケーションを殆ど取ることが出来ず家族内でも孤立している状況で、ひきこもり状態本人の積極的な相談意欲が無い(会えない)状態から、段階を踏みながら時間をかけて丁寧かつ慎重に声掛けを積み重ね、本人にとって適切な支援を選択していってもらう手法が特徴である。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	あだち若者サポートステーション
	いたばし若者サポートステーション
	多摩若者サポートステーション(含、八王子サテライト)

	わかもの就労サポートデスク
	障害者就業・生活支援センターけるん
	セーフティネットあだち
	東京都ひきこもりサポートネット(東京都ひきこもり地域支援センター)

【 2 . 令和元年度中のアウトリーチの実績概要】

法人本来事業 延べ 100 回 (4 月 ~ 2 月 29 日現在)

ひきこもりの若者(10 歳代 ~ 概ね 40 歳代)が対象。家族から訪問の相談、依頼があり当該支援が適切であれば、支援範囲は全国。

ひきこもり状態の本人の積極的な同意が無い(会えない)状態から、段階を踏みながら丁寧かつ慎重に声掛けを積み重ね、適切な支援に繋ぐ。

東京都ひきこもりサポートネット 44 件 (4 月 ~ 2 月 29 日現在)

東京都内在住で、6 か月以上ひきこもりの状態が続いている義務教育終了後の 15 歳以上で、本人の同意のある方が対象。全 5 回 + 支援機関等への同行支援 2 回で適切な支援に繋ぐ。

若年層に対する日常・社会生活支援 48 件 (4 月 ~ 1 月 31 日現在)

足立区内の生活保護世帯の若者(15 歳 ~ 39 歳)のうち、ひきこもり等の課題がある方にアウトリーチを基本とした個別かつ伴走型の支援を行う。就労・自立、場合によっては就学支援、医療受診や障害者手帳取得の支援を行う。

【 3 . 過去 2 年間ににおける子供・若者の支援に関する研修実績】

東京都ひきこもりサポートネット (ひきこもりに係る相談事業及び団体等育成事業) に於ける研修

【平成 30 年度・令和元年度】

- ・ひきこもりサポーター養成研修 (定員 50 名)
- ・ひきこもり等の若者支援団体に対する研修 (定員 40 名)
「支援能力の向上研修」、「広報能力の向上及び情報発信能力の向上研修」、「組織運営力の向上研修」
- ・ひきこもり等の若者を支援する団体職員に対する研修 (定員 講義 40 名、実践 8 名)
「ひきこもり概論」、「訪問支援 (講義・実践)」、「居場所支援 (講義・実践)」、「社会体験活動支援」、「家族支援 (講義・実践)」

内閣府アウトリーチ研修

【平成 30 年度・令和元年度】 各 3 名研修生の受け入れ

子供・若者支援地域ネットワーク強化推進事業

吹田市教育委員会青少年活動サポートプラザに於ける地域支援者向けアウトリーチ研修

平成 30 年 11 月 14 日、令和元年 11 月 26 日 各 15 名

他多数

【 4 . 過去 3 年間に おける 国 又は 地方 公共 団体の 委託 事業 や 自主 事業 等 】

【 自主 事業 】

ひきこもり等への相談・訪問事業
 共同生活寮運営事業、就労・自立支援事業、フリースペース運営
 Y S C グローバルスクール（海外にルーツのある若者への支援）
 就労継続支援 B 型・就労移行支援事業 ジョブスペース游
 障害者グループホーム きんもくせい第 1 ～ 5

【 委託 事業 】

障害者就業・生活支援センターけるん（厚生労働省・東京都）
 東京都ひきこもりサポートネット（東京都）
 地域若者サポートステーション事業（足立区、板橋区、福生市）（厚生労働省・東京労働局）
 わかもの就労サポートデスク（荒川区）
 足立区若年者就労支援事業（足立区）
 セーフティネットあだち（足立区）
 中途退学未然防止及び中途退学者等への支援事業（東京都）
 青梅市における若者の自立等支援体制整備事業（青梅市）
 多摩市子ども若者育成支援業務（多摩市）
 生活困窮者の子どもの学習支援（板橋区・八王子市・福生市）
 生活困窮者若年者就労準備支援（八王子市）
 ひとり親等学習支援事業（八王子市）
 八王子市若年無業者就労促進事業（八王子市）
 被保護者就労促進事業（足立区）

【 5 . 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る講師（担当者）】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（役職名）	・ 関連保有資格 ・ アウトリーチの経験年数
1	統括責任者（理事長）	教員免許 訪問支援歴 25 年
2	主任講師（事務局長）	訪問支援歴 17 年
3	講師	訪問支援歴 12 年

【 6 . 研修生の受入条件】

	受 入 条 件
受入れ可能な日数	7 日間 ・ 10 日間 ・ 両方可
受入可能な日程	10 月 19 日 ～ 27 日
受入可能な人数	3 名
保有資格の要否、その他の受入条件	保有資格は不問。1 年以上の相談経験のある方

【7. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」の研修内容】

研 修 内 容	
下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。	
研修全体の概要	「発見・誘導・参加・出口」の、ひきこもり状況における支援プロセスを経験・理解して、支援現場で活かせるスキルを身に付ける。「発見・誘導」を担うアウトリーチへの同行に加えて、当法人の活動を通じて「参加・出口」までのトータル的な視点をイメージできる事を目指す。
研修初日の 開始予定時刻	13:00 開始
研修最終日の 終了予定時刻	16:30 終了
2日以降の 研修開始時間	8:30 開始
2日以降の 研修終了時間	16:30 終了
初日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・法人概要、当法人のアウトリーチに関する研修 ・研修スケジュールの確認
アウトリーチ（訪問支援） がない日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援現場での実習 ・アウトリーチに関する座学、ロールプレイ演習
アウトリーチ（訪問支援） 同行日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人の本来事業に於けるアウトリーチ同行 主に家族対応、本人対応は原則無し。行先によって研修時間の長短有り。 ・生活保護世帯の若者へのアウトリーチ同行 本人対応。当法人の足立支所に集合して出発します。
最終日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の振り返り ・各研修生のアウトリーチ同行の共有
実地研修における アウトリーチの回数（予定）	2回以上 訪問先の状態等による
研修生の宿泊について	指定なし ・ 当団体の宿泊施設に宿泊可能 ・ その他（ ）
休業日について	法人としての休業日無し 同行訪問の研修期間中2日間休みを設けます
備考欄 （服装等）	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ同行の際はスーツ不可 ・2日目以降の研修時間は状況によって変わります